



市議会 だより

286

発行：東大和市議会

編集：広報委員会

〒207-8585 東大和市中心3-930

TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926

E-mail : gikai@city.higashiyamato.lg.jp

もくじ

ページ	
2・3	令和4年度決算等に対する討論
4	9月議会の議題から 「市民の声を聴く会」の開催について 7月臨時会の議題から
5	市政を聞く① 【蜂須賀・高峰・床鍋・二宮】
6	市政を聞く② 【金井・大川・木戸岡・森田・木下・石田】
7	市政を聞く③ 【関・上林・中間・佐竹・荒幡・中野】
8	市政を聞く④ 【尾崎】 topicsあれこれ／請願・陳情の要旨 委員会での議論①
9	委員会での議論②／一部事務組合議会報告①
10	一部事務組合議会報告②／協議会報告 議長が出席した会議①
11	議長が出席した会議②／監査委員の活動内容
12	議案等の結果／閉会中に行われた会議ほか

9月議会の日程

9月5日	開会、決算特別委員会の設置及び6会計決算等の付託、議案等審議、請願・陳情の付託など 議会運営委員会
6日	一般質問
7日	一般質問
8日	一般質問
11日	一般質問
14日	総務委員会
15日	厚生文教委員会
19日	建設環境委員会
20日	決算特別委員会
21日	決算特別委員会 議会運営委員会
25日	追加議案審議、常任委員会審査報告、決算特別委員会審査報告など、閉会

今号の主な内容

- 令和4年度決算等を認定・可決
2・3 ページ 6会派・無所属議員2名が決算等に対して討論
- 4 ページ 出産・子育て応援事業費等を計上した一般会計補正予算(第4号)を可決
- 4 ページ 令和4年度東大和市健全化判断比率について報告
- 4 ページ 市民体育館空調及び照明設備等更新工事請負契約について可決
- 4 ページ 固定資産評価審査委員会委員玉盛勝久氏の再任について同意
- 4 ページ 「ジェンダー平等施策のさらなる推進を求める意見書」を可決
- 4 ページ 「北朝鮮による飛翔体発射に抗議する決議」を可決
- 4 ページ 令和5年11月19日(日)に「市民の声を聴く会」を開催します
- 4 ページ [7月臨時会] 副市長に松本幹男氏を選任することに同意
- 5・6・7・8 ページ 一般質問 17名の議員が市政を聞く



街の ひとコマ

「何を語って
いるのかな」

撮影：横堀秀則さん
(狭山在住)

撮影場所：村山貯水池
(多摩湖)下堰堤

て」に、賛成の立場で討論を行う。

先般行われた決算特別委員会での質疑において、平素予算執行に当たり、それぞれの事業についてしっかりとその事業目的を定め、それに向かって業務を遂行していることがうかがわれた。その点について、職員に敬意を表したい。行政が行う事業の中には、時代の変遷によって時流に合わないものも出てくる。100歳になった方や最高齢の方に祝金を贈る「高齢者慶祝事業」については、おそらくこの制度ができた頃は100歳というのは非常に珍しい、祝うべきことであつたに違いないと考えるが、平均寿命が延び、人生100年時代が叫ばれる中、現在日本では100歳以上の方は9万人を超えている。低成長、失われた10年、20年と言われる現在のこの国の財政状況では、貴重な財源を将来に向かってどのように使っていくのかという点を第一に考えていかなければならない。そのため、こういった事業は勇気をもって廃止すべきと考える。一方で、高校や大学の受験料を

支払うことができない子供たちに受験料を貸与する制度があるが、事業を廃止することによって、これを給付することが可能になる。また、「ふるさと納税」の制度は、生まれ故郷に対して感謝の意を込めて住民税を納付するという趣旨でつくられたものだが、残念ながら、そのほとんどが返戻品目的に住民税を移動させているに過ぎない。本来の目的から大きく外れてしまった税制である。そして、この税収が減った分を国は、地方交付税で補填している。税収が増えないにもかかわらず、その事務コストは膨大である。市の例で言えば、決算特別委員会の質疑において、人件費を除くコストが約380万円と判明した。

このような無駄な税制に振り回される職員は、非常に気の毒だ。市長は、この無策を国に訴え、一刻も早く制度を廃止し、そのリソースを他の事業に向けてほしい。決算全般に対しては、市長をはじめ、職員の真摯な執行状況を確認できたことから、賛成討論とする。

課題解決に向け、未来へつなげる市政を目指す

市長のリーダーシップの発揮を期待する
立憲国民クラブ 石田 昭太郎

立憲国民クラブを代表して、令和4年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び4特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和4年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

今回の決算では、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付に係る経費や新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費、保育園等施設整備補助金や副校長補佐の配置に係る経費、介護職員初任者研修費等補助金や不妊治療

費等助成金、都市マスタープランの改定に係る経費や消防団員の処遇改善に係る経費、デジタル化の推進支援業務に係る経費やオンライン申請システム利用に係る経費等々のDX関連の一連の経費など、これらは全て、尾崎前市長の目指した持続可能な市政の実現に向けての施策であると認められるところであり、評価する。

そのほか、細かく言えば、産業振興基本計画策定支援業務委託料や庁舎空調設備更新工事費、中央公民館ホールトイレ改修工事費や

市民体育館屋上防水及び外壁改修工事費なども評価する。

財政面に関しては、自主財源が増えたことは喜ばしい一方で、依存財源が減ったことは評価が分かれるところだと考える。また、物件費と扶助費の増による経常収支比率の悪化が気になるが、次年度において改善を期待したい。

しかしながら、コロナ禍のもとにおける特殊事情や審査意見書に

高齢化社会へ向けた基金積み増しと、これまで先送りされて来た諸課題の早急な解決が急務

自由民主党 押本 修

自由民主党を代表して、令和4年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び4特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和4年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

令和4年度は尾崎前市長・小島前副市長の体制のもと、各事業が執行された。これらは、11回もの補正予算を組み、引き続き市民の生活に大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症対策や物価高対策に取り組みつつ、「子ども子育て支援」、「健康・高齢者対策」、「都市としての価値を高める施策」などを、持続可能な市政運営のための施策として執行されたことと認め、大きく評価したい。

財政面においては、令和2年度令和3年度に続き、市税等の収納率向上に努めたことは評価するが、経常収支比率が昨年度比2.0ポイント上昇したことには改善を望む。

納税者である市民の安心安全のための市政運営が大前提ではあるが、同時に、受益者負担の原則から、納得して負担をしていただけるよう、市は説明を尽くすとともに、真に必要なものを見極め、将来にわたる持続可能な市政運営に引き続き努めていくことを望む。

最後に、前体制のもとでこれまで先送りにしてきた、いくつもの案件があると聞いている。それら諸課題の解決に早急に着手することともに、和地市長が掲げる「誰もが未来への希望が持て、住み続けたいと思えるまちづくり」、「前例踏襲ではなく民間や市民の当たり前を行政に」、「市民の役に立ち、市を発展させる市役所」に、職員がチャレンジ精神を発揮し、時代に即した政策を立案・実施する体制の強化、「これらを実現すべく、松本副市長をはじめ、職員の奮闘に大きな期待をし、賛成討論とする。

基金残高は、財政調整基金が約25億5100万円、公共施設等準備基金が約40億4千万円に積み増したことを確認できたが、今後対応が求められる公共施設の再編には不十分な状態であることは、今

もあるとおり、今後、生産性の向上のため、DXの推進によるランニングコストの増大が考えられることから、より一層の歳入の縮減とさらなる歳入の確保に向けた努力を望む。

最後に、こうした市政の課題解決に向け、未来へつなげる市政を目指した和地新市長のリーダーシップの発揮を期待し、討論とする。

市内公共施設の更新問題は東京都と連携、ちよこバスのシルバーバス導入の検討を望む

無所属 高峰 章

令和4年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び4特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和4年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

ちよこバスへのシルバーバス導入について、令和4年度の事業収入約2355万9千円を、補助対象事業経費約8307万3千円を除くと、約28.4%となり、目標値である25%を上回る。シルバーバスを導入した場合、年間約450万円が事業収入減となり、同様に計算すると、約22.9%となる。25%という目標値の見直し、補助金の折衝、あるいは予算から年間約180万円を捻出できれば、この目標値が達成できる。健康づくり事業の参加者が、ちよこバスを利用することも考えられる。高齢者支援の施策としても、シルバーバス導入を強く求め、賛成討論とする。

持続可能で未来につながる市政運営を

無所属 大川 元

令和4年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び4特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和4年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

和地市長の掲げる「未来につながる市政」のためには、廃棄物の減量と適正処理、食品ロスの削減、資源物の再利用については非常に重要な課題である。

市では廃棄物の減量と適正処理に關して、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、フードシェアリングサービスを新たに実施するなど、食品ロスの削減に伴う廃棄物

の削減等を図る取組を進めていくことだが、さらに、再利用可能な紙類、布類、金属等について回収量に応じた報償金を資源物集回収団体に交付するなど、資源物回収の奨励と資源物の再利用促進にも取り組んでいるとのことである。

厳しい財政状況を踏まえつつ、持続可能で未来につながる市政運営の推進と、この難局に全力でチャレンジし、乗り越えていくことを要望し、賛成討論とする。

HOT NEWS

9月議会の議題から

- 議案の結果については最終面の議案等の結果もご参照ください。
- 文中の条例・陳情などの名称は一部省略しています。
- 決議・意見書の記事における文言については、原文のままの表記を使用しています。
- 日付等については、9月議会時のものです。

出産・子育て応援事業費等を計上した一般会計補正予算(第4号)を可決

出産・子育て応援事業費等を計上した一般会計補正予算(第4号)案が提案され、全会一致で可決しました。

歳入歳出補正予算額は、30億7986万円の増額で、主な歳入については、「地方交付税」が、令和5年度の交付額の決定に伴う普通交付税の6億4466万5千円の増額。「繰越金」が、令和4年度の決算剰余金の確定に伴う前年度繰越金の26億8639万6千円の増額です。

固定資産評価審査委員会委員 玉盛勝久氏の再任について同意

令和5年9月30日をもって固定資産評価審査委員会委員の任期が満了となる玉盛勝久(たまもり・かつひさ)氏の再任について、全会一致で同意しました。

玉盛氏は、弁護士及び税理士として活躍され、平成26年10月から3期9年間、固定資産評価審査

委員会委員を務められています。法務と税務について広い識見を有し、固定資産の評価にも明るく、かつ人望も厚いことから、引き続き次期委員として選任することについて提案されました。

任期は令和5年10月1日から令和8年9月30日までの3年間で、議長に提出しました。

令和4年度東大和市健全化判断比率について報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、市から報告がありました。

財政の健全化を判断するための指標には次の4つがあり、いずれも1つの指標が別に定める早期健全化基準以上の数値となった場合、財政状況が悪化した要因の分析の結果を踏まえ、その改善を内容とする財政健全化計画を作成し、議会の議決を経て、定めなければならないとされています。

①実質赤字比率(標準財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合)

②連結実質赤字比率(標準財政規模に対する一般会計等で負担する地方債の元利償還金等の割合)

③実質公債費比率(標準財政規模等に対する一般会計等で負担する実質的負債額の割合)

④将来負担比率(標準財政規模等に対する一般会計等で将来負担する実質的負債額の割合)

当市の令和4年度決算における4つの指標全てが早期健全化基準を下回る内容となっており、これらの指標において、当市の財政は健全な状況にあると考えられます。

市民体育館空調及び照明設備等更新工事請負契約について可決

市民体育館空調及び照明設備等更新工事請負契約について、全会一致で可決しました。

本工事は、市民体育館の空調設備、換気設備及びこれらの自動制御設備並びに照明設備の更新を行うもので、令和5年9月5日に実

固定資産評価審査委員会委員 玉盛勝久氏の再任について同意

令和5年9月30日をもって固定資産評価審査委員会委員の任期が満了となる玉盛勝久(たまもり・かつひさ)氏の再任について、全会一致で同意しました。

玉盛氏は、弁護士及び税理士として活躍され、平成26年10月から3期9年間、固定資産評価審査

委員会委員を務められています。法務と税務について広い識見を有し、固定資産の評価にも明るく、かつ人望も厚いことから、引き続き次期委員として選任することについて提案されました。

任期は令和5年10月1日から令和8年9月30日までの3年間で、議長に提出しました。

「ジェンダー平等施策のさらなる推進を求める意見書」を可決

本意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画担当)、法務大臣、厚生労働大臣及び衆・参議院議長に提出しました。

(意見書・要旨) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、女性の貧困、失業、DV被害や自殺者の急増など日本のジェンダー平等施策や社会的コンセンサス形成の立ち遅れを浮き彫りにしました。

政府は、2020年に策定した第5次男女共同参画基本計画の中で「諸外国のジェンダー平等に向けた取組のスピードは速く、我が国は国際的に大きく差を掛けられ

ています。まずは諸外国の水準に追いつけるよう、これまでの延長線上にとどまらない強力な取組を進め、法制度・慣行を含め、見直す必要がある」としています。

全ての人の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会の実現が求められる中、ジェンダー平等施策の強化は喫緊の課題です。

よって東大和市議会は、政府に対し、日本のジェンダー平等をさらに前に進め、一人一人の人間が希望を持って生きられる社会の構築に向け、積極的に行動すること

を求めます。

「北朝鮮による飛翔体発射に抗議する決議」を可決

本決議を全会一致で可決し、内閣総理大臣に参考送付しました。

(決議・要旨) 東大和市議会は、こ

く批判し、計画中止を求める決議や非難決議を行ってきた。

本市議会は、一連の軍事行動を厳しく糾弾するとともに、世界の恒久平和と東アジアの平和と安定を願い、北朝鮮政府に対し再び核実験や長距離弾道ミサイルの発射

を行わないことを強く求め、また、北朝鮮政府が国連安保理決議を守り、6か国協議の共同声明に立ち返り、国際社会の責任ある一員としての行動をとるよう強く求めるものである。

第6回東大和市議会「市民の声を聴く会」を開催します!



令和5年11月19日(日)午後2時から
市役所会議棟第1・2会議室
20名程度(当日先着順)
※事前申し込みは不要です
※手話通訳を希望する方は、11月8日(水)までにご連絡ください。(FAX番号 042-563-5926)

令和4年度決算審査の内容や各委員会が所管する分野等について、皆様の声を広く聴かせていただく会をグループディスカッション形式で実施します!

委員会名	所管事務調査のテーマ	委員会が所管する主な分野
総務	・市の防災及び防犯対策のうち総務部の所管に関すること ・「これからの50年、未来につながる施策(公共施設・スマートシティ・人材育成)」について	・シティ・プロモーション、ふるさと納税 ・公共施設 ・デジタル化 ・総合計画など市政全般 ・防災、防犯など
厚生文教	・東大和市における中学校の部活動の地域移行について	・子育て支援 ・福祉 ・国民健康保険 ・学校教育 ・社会教育など
建設環境	・温室効果ガスの排出量削減等を行うための施策に関する市の取組について(環境対策課)	・観光、産業振興 ・環境(廃棄物処理等を含む) ・都市建設(道路、公園) ・農業など

7月臨時会の議題から

副市長に松本幹男氏を選任することに同意

小島昇副市長が令和5年7月31日をもって退任することに伴い、後任の副市長に松本幹男(まつもと・みきお)氏を選任することに同意しました。

松本氏は、東大和市役所に入職後、環境部長、子ども未来部長を歴任されています。

幅広い識見と豊富な経験を有し、人望も厚いことから、松本氏を副市長として選任することについて提案されました。

任期は令和5年8月1日から令和9年7月31日までの4年間で、

市政を聞く

9月議会 一般質問要旨

掲載は発言順

各議員が取り上げたテーマ

自 蜂須賀 千雅

長期休み明けの子ども達の変化に係る教育委員会の取組/平和事業

無 高峰 章

東大和市健康都市宣言等とちよこバスとの関連性について他

や 床鍋 義博

災害対策について/市民の身体・財産保護について

立国 二宮 由子

シェアサイクルの取組について/観光事業の推進について

無 関 綾子

環境と安全に配慮した取組について/保育環境について

共 上林 真佐恵

保育施策/不登校・ひきこもり/学校給食費無償化と教職員の給食費他

公 中間 建二

新しい時代に沿った市政運営の実現/介護予防事業の充実について

公 佐竹 康彦

国民健康保険/公共施設再編/若い世代の意見を市政に反映させる取組他

公 荒幡 伸一

循環型社会を目指す取組/家族介護者への支援策強化について他

や 中野 志乃夫

ちよこバスの運営について/公共用地の有効活用について

共 尾崎 利一

コロナ/介護/学校統廃合/葬儀難民/料金引下げ/国・都有地



会派等略称 公 公明党 共 日本共産党 自新 自由民主党新政会
や やまとみどり 立国 立憲国民クラブ 自 自由民主党 無 無所属



旧日立航空機株式会社変電所

問 夏休み明けは不慮の事故が大変に増える時期だ。普段と違う様子は無いかなど、いつも以上に気に掛ける必要がある時期だと考えるが、教育委員会としての取組は。
答 スクールソーシャルワーカーを増員し、定期的な巡回指導を行うとともに、スクールカウンセラーと養護教員が日常的に校内を巡回することで、特に配慮が必要

長期休み明けの子ども達の変化について/平和事業について



蜂須賀千雅 (自由民主党)



要望 旧日立航空機株式会社変電所や地域人材を活用し、語り部による講話などを通じて、平和教育を充実させていきたい。
要望 広島市教育委員会の平和教育なども参考に、子ども達の発達段階に応じた平和教育の実施により、平和の素晴らしさを伝えていくことを強く要望する。

問 児童や生徒の把握に努めている。心のSOSに対して、家庭、学校、教育委員会の気づきがあるように、子ども達に寄り添った取組を求める。また、公共施設等を再点検し、子ども達が安心して過ごせる居場所づくりを要望する。
問 次世代の子ども達へ、恒久的な平和教育が必要であると考える。今後について、市の考えを伺う。

「さらに豊かな東大和市、ずっと住み続けたい東大和市」を目指す



高峰章 (無所属)



東大和市暮らし・しごと応援センター

問 様々なイベントや健康づくり事業に参加するにあたり、ちよこバスを利用している市民の方もおられるが、市の認識を伺う。
答 健康づくり事業に参加する市民の方が、ちよこバスを利用することも考えられる。

問 「そえる」の業務の中核は相談だと思いが、相談室の移転に伴う環境整備について、市の認識は。
答 利用者が相談しやすく、かつプライバシーにも配慮した環境にしたいと考えている。

問 検討していくことを要望する。
問 旧日立航空機株式会社変電所の東京都指定文化財登録に関して、令和5年第2回市議会定例会以降の市の取組と今後の考え方を伺う。
答 都へ改めて文化財指定の照会をしたが、候補とはなっていない。今後適宜、確認をしていきたい。
要望 東京都指定文化財登録により、平和を発信する当変電所の意義が、一層高まると思われる。いずれは国重要文化財指定も視野に入れて、取り組んでほしい。



シェアサイクルステーション

問 シェアサイクル実証実験の目的及び実施期間等の詳細は。
答 市内の魅力なスポットの回遊性向上と地域の活性化等を目的に、10月1日から2年間を予定。必要経費は全て事業者が負担する。
問 自転車利用者の安全面について、ヘルメット着用等の対応は。
答 各ステーションにヘルメット着用を促す案内を予定している。

シェアサイクルの取組と観光事業の推進について



二宮由子 (立憲国民クラブ)



問 散策に役立つマップの作成は急務。市内での飲食、東大ブランドの特産品発掘などについて、QRコードでの情報提供の検討は。
答 今後発行予定のマップにQRコードの掲載を検討する。
問 多摩湖竣工100年まであと4年、記念のダムカードの作成は。
答 現在、作成する予定はないと、所管する東京都水道局に確認した。多摩湖は市を代表する観光名所なので、ダムカードに執着せず、全国の観光スポットを統一フォーマットでシリーズ化している「ロケットカード」への参加の検討は。
要望 先進事例を調査、研究する。多摩湖竣工100年記念を契機に、シェアサイクル事業との相乗効果が図れる取組を求める。



問 災害時の自助意識について、インセンティブを高める施策は。
答 各自が主体的に防災訓練や防災講話に参加してもらうことや、防災関連の冊子などを手に取ってもらえるような工夫をしている。
問 堅牢なマンションについては、トイレ・情報・食料の問題が解決できれば、自宅避難生活を送るいわゆる籠城という選択も可能と

防災意識の自助に対する施策/非木造住宅の耐震/成年後見制度



床鍋義博 (やまとみどり)



問 なる。それが自助のインセンティブになると考えるが、市の見解は。
答 自治会や自主防災組織等の地域コミュニティを通じて防災活動を推進することが、各自の防災意識を高めるために有効だと考える。
問 非木造建造物について耐震の診断・改修の助成は行っているか。
答 分譲マンションの耐震化に対する助成は行っていない。
要望 当市でも非木造建造物に対しての耐震診断、耐震改修の助成を充実させてほしい。
問 成年後見人への報酬助成について、現状は。
答 当市を含む都内26市中9市で、市長申立てのみを対象としている。
要望 市民の権利と財産を守るため、本制度の充実を要望する。



上記のQRコードを読み込むと、その議員が行った一般質問の動画の一覧が表示されます。一覧の最上部に表示されている動画が、直近に行われた一般質問です。視聴したい動画の再生ボタンを選択し、ご覧ください。

地域と共にある学校づくり
災害時の対応について伺う



金井 康哲
(やまとみどり)



問 学校と家庭、地域が一体となつたより良い学校づくりの現状は。
答 令和5年度において、全ての小・中学校のコミュニティ・スクールとしての指定を完了している。



問 学校と地域との目標やビジョンの共有が重要であり、設置しただけでは意味がなく、実効性のあるものでなければ本来の目的は果たせないと考えますが、市の見解は。
答 学校運営協議会委員対象の研修会等において情報共有しコミュニティ・スクールの活性化を図る。新たに設置した学校においては、指導主事の派遣や伴走支援も必要と考える。また、コミュニティ・スクールを導入することで子ども達が自分の住む地域を好きになり、誇りを持てるような取組が図られることを期待する。

第七小学校と第九小学校の
統合について



大川 元
(無所属)



第七小学校

問 第七小学校と第九小学校の統合に向けた現在の状況を伺う。
答 令和5年度中に基本構想を策定し、その後、基本設計・実施設計に着手する予定である。

問 令和8年4月とし、新校舎の開校についてはこれまで予定していた令和9年2学期から令和10年2学期へと変更したいと考えている。見直しに至った経緯を伺う。
答 建築業界における資材価格や人件費の高騰等により、整備内容や工事費の精査が必要となった。この作業に伴い、全体のスケジュールを見直した。

熱中症／ひきこもり／学童保育／
放課後等デイサービス／要配慮者



木戸 岡秀彦
(公明党)



問 登下校時等に直射日光を避け、体感温度を下げる日傘や冷感タオル・パットの配付はできないか。
答 日傘等の使用は効果的である。調査・研究し、適切に対応したい。

問 外出時の休憩所として、高齢者などが気軽に涼を取れるクールスポットやマイボトル用給水器を市内各所に設置できないか。
答 先進事例の研究等に努めたい。

財源創出と民間企業等との
包括連携協定について



森田 博之
(自由民主党
新国会)



問 財源創出のための新たな取組として、企業誘致について伺う。
答 若者や女性の創業支援のほか、大きな土地を必要としないデジタル系などの企業誘致について、調査・研究をしている。



問 クラウドファンディングの活用について伺う。
答 クラウドファンディングは、具体的な事業を示して寄附金を募るもの。今後、検討していきたい。

東大和市の自然環境の保全について



木下 富雄
(自由民主党
新国会)



トウキョウサンショウウオ

問 トウキョウサンショウウオの市内の生息地はどのようになっているのか。
答 狭山丘陵内の一か所である。しかし、生育したサンショウウオは、人目に触れないような生息地を選ぶ傾向にあることから丘陵地の中の細かな生息地については、把握し難い状況にある。

問 この絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている方をゲストティーチャーに迎え、トウキョウサンショウウオを守ろうという学びを行っている。
要望 小学生のうちから郷土に対する取組を経験できることは非常に有意義だと考える。児童・生徒をはじめ、老若男女の市民と市が協働で自然環境の創造や維持管理、保全を行う体制の構築を要望する。

市財政運営について



石田 昭太郎
(立憲国民
クラブ)



問 基金の運用について伺う。
答 多摩地区26市では令和5年8月末現在、全ての市において定期預金が活用されており、うち11市において国債や地方債などの債券購入による運用が実施されている。



東大和市役所

問 11市に当市は含まれているか、含まれていない。
答 当市の直近の運用実績は、令和4年度は9つの基金について、検討していく必要がある。
要望 税金を大切に使わなければならないことは重々承知しているが、預金運用に大きく偏っている現状には改善の余地がある。しっかりと運用していけば、より多くのお金を次の世代につなげることができる。自治体がつとお金の大きさを生かした基金の運用を望む。



合成洗剤や香害への取組／保育士配置改善・保育環境を守る



関 綾子 (無所属)



問 公共施設で使用する洗剤は、環境に配慮したものを単価契約しているが、PRT法に指定された有害性のある化学物質が含まれているものもある。
答 環境に配慮した洗剤の使用に関するガイドラインが必要では。
問 基準となるラベルやマークがなく、成分を確認して判断をするため、策定には研究が必要である。



問 ガイドラインを策定し、安全な洗剤の使用を守ってほしい。
答 学校生活での「香害」に関する相談はあるか。
問 各家庭で洗濯する給食の白衣について「香り」の相談があり、市内保育園の保育士の配置は補助金等を活用し、国の基準に上乗せした配置をしている。
問 不十分な国の配置基準しかない中、保育の質は守られているか。
答 各保育施設で適切に保育を提供していると認識している。
問 認可保育園の運営は社会福祉法人が担うという基準の策定は。
答 当市では公共性の高い社会福祉法人が運営を担っているが、基準を策定することは難しい。

待機児童対策、狭山保育園存続、不登校支援拡充、給食費無償化



上林 真佐恵 (日本共産党)



問 旧基準(認可保育園)に入園できていない人数)での待機児童数の10年間の推移は。
答 平成26年度から令和5年度まで68人、65人、78人、44人、102人、108人、87人、80人、54人、57人。
問 各家庭の希望に合う保育園に入園できることが大切ではないか。
答 希望する園に入園できることは重要であると認識している。



狭山保育園

問 公立保育園の運営費、施設整備費に対する国の財源措置は。
答 運営費は普通交付税の基準財政需要額により算定。施設整備費は国庫補助金だった2分の1部分は地方債の借入れが可能である。
問 老朽化した園舎を建て替え、市の責任を果たすよう強く求める。
答 サポートルーム以外の不登校の子どもの居場所の検討状況は。
問 「そえる」等との連携以外の検討は進んでいない。
問 不登校を自己責任にしないために、学校以外の学びの保障を。
答 教員の給食費値上げの状況は。
問 4月と7月に値上げを行った。
答 食材費の高騰に伴う値上げ分については市で負担することと合わせ、給食費無償化を求める。

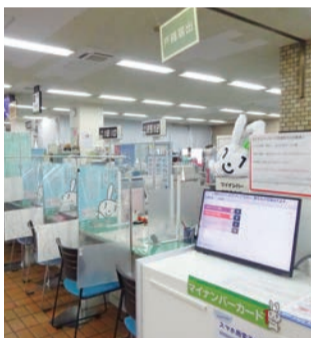
「行かなくても済む市役所」と「ショッピングハビリ」の実現を



中間 建一 (公明党)



問 行政のデジタル化による「行かなくても済む市役所」の実現に向けて、どのような施策を進めていくのか。
答 現在、検討を進めている東大和市DXプランの中で実施時期等を整理し、実現に向けて取り組んでいきたい。
問 オンライン上で手続が可能な事務を集約した「デジタル窓口」



市役所窓口

の設置を望むが、市の考えは。
答 有効な取組であり、実現できよう検討していきたい。
問 「書かない窓口」は、どのような形で実現していくのか。
答 「親切だから行きたくない市役所」の実現のために必要な取組であると考えている。DXプランの中で実施時期等を整理し、実現に向けて取り組んでいきたい。
問 ショッピングハビリは介護予防に効果があるだけでなく、買物困難者への生活支援にもなるが、どのように受け止めているのか。
答 買物を通して運動訓練や認知機能の訓練、社会参加の要素を含むものであり、介護予防に効果があると認識している。引き続き、事業効果等を含め研究していく。

国保財政健全化の取組、公共施設と今後のまちづくりについて



佐竹 康彦 (公明党)



問 6年にわたった国保の赤字補填解消の成果はどのようなものか。
答 財政健全化計画に基づき、従前の軽減制度に市独自の軽減や減免制度等を加え、6年間の税率改定で5億8059万円の赤字補填繰入れを令和5年度当初予算で解消。また、収納率が83.2%から92.9%に向上。糖尿病等重症化プログラム等の実施で医療費適正



化でも大きな成果を上げた。令和4年度、国の保険者努力支援制度交付金は約3500万円、都の市町村国民健康保険費補助金は約5500万円の交付を受けた。
問 今後、健全な財政運営とともに、負担軽減に努めてほしい。
答 公共施設の再編と今後のまちづくりについて、市の考えを伺う。
問 民間連携手法などにより、利便性・快適性を備えた満足度の高い施設整備を研究する。複合化で多世代交流が実現する場を創出し、生き生きと暮らすことができる魅力ある拠点の形成を目指したい。
問 若い世代の声を反映する策は。
答 SNSを活用した聴取を行う。
問 誰でも通園制度の実施は。
答 検討に至らず国の動向を注視。

循環型社会を目指す取組、家族介護者への支援強化について



荒幡 伸一 (公明党)



問 マイボトルの利用を促進し、ペットボトル等のプラスチックごみを削減するための取組として、市内施設にマイボトル専用給水器の設置を求めるが、いかがか。
答 ペットボトルの削減方法の一つとして効果があると認識しているが、設置場所などの課題もあり、十分な検討が必要である。
問 おくすりシートは、国内だけ



で年間1万3千トンほどが生産されており、今後も高齢化の進展とともに使用量の増加が見込まれる。回収することによって、市民のプラスチック問題への関心を高めることが期待できるのではないかと。
問 今後、使用済み注射針の回収事業を行っている薬剤師会のほか、可能なら製薬メーカーとも機会を捉えて接触できればと考えている。
問 新たな基本指針案に沿って介護保険事業計画を策定した場合、介護者への支援はどのように変わっていくと想定されるのか。
答 今後は属性や世代を問わず包括的な相談支援等を担うことが期待されており、障害福祉分野、児童福祉分野等、他分野との連携促進を図っていくことが重要である。

公共用地でキッチンカー等を活用した地域商業イベントを



中野 志乃夫 (やまとみどり)



問 公共用地の有効活用について、市役所駐車場、都営向原団地地区の創出用地、桜が丘の国有地等でキッチンカーなどを集めた地域イベントを開催して、地域商業の活性化を図るべきではないか。
答 現在、キッチンカーを活用した地域商業の活性化は行っていないが、他自治体の事例等を収集し、調査・研究したいと考えている。



問 都内では大田区や世田谷区、杉並区において、庁舎にキッチンカーを招き入れて、毎週何曜日にかついうキッチンカーが来ますと、区民に分かるような設定をして、取り組んでいる。さらに、町田市では市庁舎や市内の公園にもキッチンカーを招き入れるなど、実証実験が注目されている。また、キッチンカーは通常、発電機を備えているため、災害時にも発電機を利用して調理ができる等、地域防災の観点から考えても大変有効だ。商業の活性化はもちろん、様々な意味で、もっと普及していいのではないかと。市内の事業者もそういった場があれば、キッチンカーを活用してみようという気になるのではないかと。ぜひ検討してほしい。



上記のQRコードを読み込むと、その議員が行った一般質問の動画の一覧が表示されます。一覧の最上部に表示されている動画が、直近に行われた一般質問です。視聴したい動画の再生ボタンを選択し、ご覧ください。

学校も教員も減らず統廃合でなく 少人数学級を / 葬儀難民の解決を



尾崎利一
(日本共産党)



問 学校統廃合について。小学校の学級規模は、OECD 21人、EU 19人、日本27人、東大和31人。教育環境が立ち後れているのに、日本は少子化だからと教員も学校も減らし続ける。EU諸国との教育格差はさらに広がる。こうしたことを続けていいのか。市の考えは。

答 学級編成は国が検討する。市単独の少人数学級の予定はない。



第九小学校

要旨 日本は、子供の減少を上回って学校を減らしている。東大和の統廃合もこの流れだ。この道に未来はない。学校も教員も減らさず、少人数学級を推進すべきだ。「葬儀難民」について。近年の死亡者の推移を伺う。

問 平成30年度800人、令和4年度978人。年5%程度増加している。

答 本市には火葬場がなく、組合にも参加していない。経過を伺う。

問 具体的検討をしたことがない。組合に入っていないことでの市民のデメリットを伺う。

答 利用時間帯が限定される。立川聖苑、瑞穂斎場の火葬費用は8万円だが、組合市民は無料など。大変な問題だ。喫緊の課題として取組を進めるよう求める。

topics あれこれ

河川改修促進連盟総会・ 促進大会に出席しました

東京河川改修促進連盟は、都内の河川の氾濫、溢水による災害を防止して住民の福祉を増進するため、これに賛同する特別区、市、町及び村の長及び議会議員により組織されています。

令和5年8月10日、調布市グリーンホールにて、第61回総会及び促進大会が開催され、当市議会から議長及び議員が出席しました。



第61回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会

総会では、令和4年度事業報告及び歳入歳出決算・会計監査報告並びに令和5年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)の審議を行い、東京都から河川及び下水道事業についての説明を受けました。促進大会では、意見発表、大会宣言・大会決議が採択され、当市議会の議長による万歳三唱で大会は終了しました。

宇治市議会が行政視察で 来訪されました

令和5年8月22日に、京都府宇治市議会文教・福祉常任委員会が行政視察で本市を訪れました。視察内容は、「学校給食センターについて」で、担当課長及び職員が学校給食センターの概要等について説明しました。



宇治市議会行政視察

普通救命講習会を受講し ました

市議会では令和5年9月13日に、本会議場を利用して普通救命講習会を開催し、9名の議員が受講しました。

公益財団法人東京防災救急協会及び北多摩西部消防署の指導員を講師に迎え、心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の使用法、異物除去などを学びました。講習会終了後には、東京消防庁



普通救命講習会

請願・陳情の要旨

※件名の番号と各委員会における審査結果の番号は符合しています。

(1) **チラシ配置拒否事件高裁判決に関する市長の適正な対応を促すよう求める請願**

▼請願者 ▲ 桜が丘在所 「自由と人権」代表 榎本 清
▼要旨 ▲ 本請願を採択し、市議会として市長に適正な対応を促すよう求めるものである。

(2) **健康保険証の存続を求める陳情**

▼陳情者 ▲ 新宿区西新宿在所 東京保険医協会 会長 須田 昭夫
▼要旨 ▲ 健康保険証の廃止を中止して存続するように、国に意見書を提出してください。

(3) **改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情**

▼陳情者 ▲ 武蔵村山市中央在所 東京土建一般労働組合村山大和支部 執行委員長 宮澤 良明

▼要旨 ▲ 改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める意見書を採択し、政府に送付してほしい。

(4) **消費税インボイス制度の実施について再考を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情**

▼陳情者 ▲ 武蔵村山市中央在所 東京土建一般労働組合村山大和支部 執行委員長 宮澤 良明
▼要旨 ▲ 消費税のインボイス制度の2023年10月からの実施について再考を求める意見書を採択し、政府に送付してほしい。

(5) **指定管理者関係条例の違法条項の改正を求める陳情**

▼陳情者 ▲ 西多摩郡瑞穂町大字武蔵在所 立憲共和党代表 角田 統領
▼要旨 ▲ 指定管理者関係条例の違法条項の改正を求める。ほか

委員会での議論



総務

(1) **チラシ配置拒否事件高裁判決に関する市長の適正な対応を促すよう求める請願は、不採択としました。**

(主な質疑及び意見・討論)

問 2番で市側が一部敗訴と市長が発言した根拠について伺う。また、判決文では訴訟費用の10分の9を控訴人の負担とするとなっているが、この理由について、市はどのように受け止めているのか。

答 根拠については、東京高等裁判所の判決で10万円の請求に対して1万円の支払いとし、訴訟費用10分の1を市の負担とするという趣旨によるものである。また、10分の9を控訴人の負担とする理由については、原判決が変更されたことによるものと認識している。

問 原因究明と再発防止について、

広く市民へ示すべきではないか。

答 個々の案件の内容に応じて判断をしていきたい。本件に関しては、一個人と市との関係であり、そこまですべき案件ではないと認識している。

問 一部敗訴という表現を使用したことについて、市の認識を伺う。

答 裁判において法的に正式な用語でないことは理解しているが、高等裁判所の判決で、10万円の請求に対して1万円の支払い命令が下ったという事実を捉えて、一部敗訴という表現を使ったものであり、それ以上の意図はない。

問 市が判断した根拠を伺う。



答 今回の公民館長の判断というのは、取扱基準に沿って、館長の判断で修正を求めたものであるが、このやり取りそのものが行政手続法に反していると、今回の判決では判断されている。そのことは事実として問題があったと捉え、現状は複数の職員により協議し、表現の自由などを尊重した上で対応している。

意見 判決に請求内容はない。よって、市長には法的に請願者の請求に応じる義務はない。仮に請求内容に含めていけば、認められた可能性はある。見通しが甘かったのではないかと。ただ、市側には、より丁寧な対応を求める。

意見 表現の自由が制限されたことは重大な問題である。一部敗訴という言葉についても疑問を持った。事の重大性を鑑みれば、謝罪

(2) 健康保険証の存続を求める陳情は、不採択としました。

(主な質疑及び意見・討論)

問 マイナンバーカードの保険証利用に関するトラブル等について、市内医療機関の状況を伺う。

答 不具合等の状況は把握していない。市民の方からの問い合わせもない。

意見 健康保険証の廃止は、国民の不安払拭のための措置が完了することがまずは大前提であるとして取組を進めている。陳情者の不安な気持ちは察するところもあるが、考えには賛同しかねる。

意見 都内の調査によると、オンライン資格確認システムでトラブルがあり、高齢者やシステム整備

(3) 「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情は、不採択としました。

(主な質疑及び意見・討論)

問 障害のある方や寝たきりの方、認知症の方などは、マイナンバーカードの取得や更新手続き等が

し、公表すべきだ。市は、原因の究明と再発防止に努めてほしい。

意見 市は判決を真摯に受け入れ対応していくことだが、一部の表現については改めるべきだ。

意見 一部敗訴という概念は、民事訴訟法の中で明確に規定されている。表現の自由が最大限に尊重されることは当然だが、一方で、公民館は広く市民が利用する施設であるということも考えると、公序良俗に反する表現や人権侵害等に関する判断については組織で検討し、適切に対応すべきだ。

討論 市の行為が違法であったとする高裁の判決は大変重いものだ。住民の自由な活動を保障する公民館の役割を果たす上でも、市民との信頼を取り戻す上でも、徹底的な原因究明と再発防止のため、具体的な方策を講じることを求める。

が難しい医療機関も影響を受けているということだ。紙の保険証の使用も維持すべきと考える。

意見 申請を待つことなく、資格確認書をブッシュ型で配布することを総理が表明している。実質的には健康保険証が残っている見てもいいのではないかと。

討論 マイナンバーカードの取得は任意であり、メリットを感じる人は活用し、使いたくない人は使わない、この立場を国は守るべきだ。これまでどおりに保険証を残すことが、この大混乱の中で最善かつ唯一の解決策である。

意思を示し、必要書類をそろえていただくことにより、申請あるいは受け取りが可能となっている。

意見 社会的に立場の弱い方々が医療から取り残されるようなことは絶対にあってはならない。紙の保険証を当然残すべきだということと意見書を提出できたらと思う。

意見 健康保険証を廃止しても、今までの通りの保険医療を受けることができるなど、国民が抱える不安払拭に万全の体制をとるよう、

非常に困難であると陳情理由に書かれているが、当市の状況は、**答** 本人による手続きが難しい場合は、法定代理人が本人に代わって

(4) 「消費税インボイス制度の実施について再考を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情は、不採択としました。

(主な質疑及び意見・討論)

問 シルバー人材センターにも大きな影響があるのではないかと。

答 配分金を受ける会員については、その額から通常は免税事業者となるため、直接の影響はない。シルバー人材センターについても、配分金に影響はない。

意見 過去にも同様の陳情が提出されたが、そのときの判断では現状のとおりに進めるべきという議会の意思も示している。現在のこの段階において、10月1日からスタートする制度の再考を求めるといふことについては難しいと考える。

意見 制度の円滑な導入を図るため、様々な経過措置を講じることとすることである。複数税率の下で適正も中止すべきである。

(5) 指定管理者関係条例の違法条項の改正を求める陳情は、不採択としました。

(所管事務調査)

令和5年7月11日に、「これからの50年、未来につながる施策(公共施設・スマートシティ・人材育成)について」の調査を進め方を協議しました。

同年9月14日には、「市の防災及び防犯対策のうち総務部の所管に関すること」として、令和5年3月から令和5年8月までの災害対応等について、総務部から報告を受け、質疑を行いました。

次に、「これからの50年、未来につながる施策(公共施設・スマートシティ・人材育成)について」を議題とし、当市の取り組み状況等について企画財政部から説明を受け、質疑の後、委員間で意見交換を行いました。

国も取組を進めている。陳情者の不安な気持ちは察するところもあるが、陳情理由には賛同しかねる。

意見 現状、マイナンバーカードを保険証として活用するかどうかは任意であり、陳情が求める対応は、既になされていると理解する。

討論 高齢者や障害のある方も含む全ての国民が安心して医療にかかれる権利を保障するため、現行の保険証を残すことを強く求める。

10月が目前に迫った現在もオンライン署名が増え続けているという状況から考えても、やはり一度踏みとどまり、市内の事業者の方も含め、小規模事業者やフリーランスで働く方を守るためにはどうしたらいいかということをしちんと議論すべきではないか。

討論 導入の延期や中止を求める民意を無視して強行することは許されない行為だ。地域に根差し、地域経済を支える個人や中小事業者の営業を壊し、その発展を阻害するインボイス制度は、今からでも中止すべきである。

国も取組を進めている。陳情者の不安な気持ちは察するところもあるが、陳情理由には賛同しかねる。

意見 現状、マイナンバーカードを保険証として活用するかどうかは任意であり、陳情が求める対応は、既になされていると理解する。

討論 高齢者や障害のある方も含む全ての国民が安心して医療にかかれる権利を保障するため、現行の保険証を残すことを強く求める。

非常に困難であると陳情理由に書かれているが、当市の状況は、**答** 本人による手続きが難しい場合は、法定代理人が本人に代わって

厚生文教



議案、請願・陳情などの審査案件は、ありませんでした。

(所管事務調査) 令和5年7月11日に、「東大和市における中学校の部活動の地域移行について」の調査を進め方を協議しました。同年9月15日には、当市の取り組み状況等について教育部から説明を受け、質疑の後、委員間で意見交換を行いました。

建設環境



市道路線の認定については、全会一致で原案とおり可決しました。

(所管事務調査) 令和5年7月18日に、「温室効果ガスの排出量削減等を行うための施策に関する市の取組について(環境対策課)」の調査を進め方を協議しました。同年9月19日には、当市の取り組み状況等について、質疑の後、委員間で意見交換を行いました。

一部事務組合議会報告

昭和病院企業団議会

昭和病院企業団は、公立昭和病院の運営を行うため、小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、西東京市の7市で組織しています。

◆企業団議会議員

佐竹 康彦 床鍋 義博

○令和5年第1回臨時会

1 開催日 令和5年7月25日

2 議事

・昭和病院企業団監査委員(議員)の選任につき同意を求めることについて ほか



昭和病院企業団



湖南衛生組合議会

湖南衛生組合は、し尿処理施設の運営を行うため、立川市、武蔵野市、小金井市、小平市、国分寺市、東大和市、武蔵村山市の7市で組織しています。

◇組合議会議員

二宮 由子 上林真佐恵

○令和5年第1回臨時議会

1 開催日 令和5年7月26日

2 議事

・湖南衛生組合監査委員の選任の同意について ほか



湖南衛生組合

小平・村山・大和衛生組合議会

小平・村山・大和衛生組合は、ごみ処理施設の設置・運営等を行うため、小平市、東大和市、武蔵村山市の3市で組織しています。

◇組合議会議員

尾崎 利一 押本 修

木戸岡秀彦 中野志乃夫

○令和5年5月臨時議会

1 開催日 令和5年5月31日

2 議事

・小平・村山・大和衛生組合監査委員の選任につき同意を求めることについて ほか



小平・村山・大和衛生組合

東京たま広域資源循環組合議会

東京たま広域資源循環組合は、一般廃棄物の最終処分場の設置・管理等を行うため、多摩地域25市と瑞穂町で組織しています。

◇組合議会議員

木下 富雄

○令和5年第2回全員協議会

1 開催日 令和5年7月21日

2 議事

・東京たま広域資源循環組合議会役員人事について ほか

○令和5年第1回臨時議会

1 開催日 令和5年7月21日

2 議事

・専決処分(令和4年度東京たま広域資源循環組合一般会計



東京たま広域資源循環組合

補正予算(第2号)について
・監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて ほか

協議会報告

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

三多摩上下水及び道路建設促進協議会は、三多摩地区の上下水道及び道路建設に関する調査研究を行い、その結果を実現するため、三多摩地区全市町村議会の代表で組織しています。

◇第1委員会(上水道)

○第1回委員会 高峰 章

1 開催日 令和5年7月26日

2 議事

・令和5年度第1委員会活動計画(案)について

・陳情書(案)の提出について ほか

◇第2委員会(下水道)

○第2委員会委員 石田昭太郎

○第1回委員会

1 開催日 令和5年8月3日

2 議事

・令和5年度第2委員会活動計画(案)について

・令和5年度第2委員会陳情書(案)について ほか

・国・東京都に対する陳情書(案)について ほか

・東京都への陳情行動

1 開催日 令和5年8月24日

2 議事

・都議会議員長へ陳情書(写)の提出 ほか

野火止用水保全対策協議会

野火止用水保全対策協議会は、野火止用水の歴史環境保全等の促進を図ることを目的に、これに必要な協議・調整を行うため、立川市、東大和市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市の6市で組織しています。

◇協議会委員

関 綾子 早川 美穂

佐竹 康彦

○令和5年度通常総会

1 開催日 令和5年7月10日

2 議事

・令和4年度事業報告
・令和4年度収支決算及び監査



野火止用水

結果報告
・令和5年度事業計画(案)
・令和5年度収支予算(案)
・令和5年度野火止用水保全に関する要望書(案)
・役員の交代について(案) ほか

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会は、中央線の立体化複々線を促進し、地域社会の開発等地域振興を図り、合わせて青梅線、五日市線の輸送力増強や都心への直通を促進することを目的としています。

◇協議会構成員

議長 東口 正美

建設環境委員会委員長 大川 元

○第55回総会

1 開催日 令和5年7月24日

2 議事

・令和4年度事業報告
・令和4年度歳入歳出決算・歳入歳出決算監査報告

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会は、多摩地域の都市モノレール等の建設を促進し、南北交通結節機能の強化を図ることに

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

・令和5年度事業計画(案)
・令和5年度歳入歳出予算(案) ほか



JR 中央線

◇協議会構成員

議長 東口 正美

建設環境委員会委員長 大川 元

○第42回総会

1 開催日 令和5年7月24日

2 議事

・令和4年度事業報告
・令和4年度歳入歳出決算・歳入歳出決算監査報告

多摩モノレール



多摩モノレール

議長が出席した会議

東口正美議長及び関田正民前議長が出席した主な会議として、全国市議会議長会、関東市議会議長会及び東京都市議会議長会等について報告します。開催された期間は、令和5年4月1日から令和5年9月30日までです。

全国市議会議長会

- 定期総会
- 1 開催日 令和5年6月14日
- 2 議事
 - 〈部会提出議案〉
 - ・東日本大震災からの復旧・復興について
 - ・原子力発電所事故災害について
 - ・脱炭素社会の実現に向けた支援について
 - ・水道施設更新・改良に関する国庫補助制度等の拡充と創設について

〈会長提出議案〉

- ・多様な人材の市議会への参画促進に関する決議(案)
- ・ポストコロナを展望した地方財政の充実に関する決議(案)
- ・感染拡大防止と社会経済活動の両立に関する決議(案)
- ・頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等に関する決議(案)
- ・東日本大震災からの復旧・復興に関する決議(案)

関東市議会議長会

- 定期総会
- 1 開催日 令和5年5月25日
- 2 議事
 - 〈会長提出議案〉
 - ・令和4年度関東市議会議長会歳入歳出決算
 - ・令和5年度関東市議会議長会歳入歳出予算
 - 〈都県提出議案〉
 - ・病児保育事業に対する支援拡充等について
 - ・教職員における労働環境の改善について
 - ・公共施設等適正管理推進事業(除却事業)の財政支援の拡充について
 - ・地方議会議員の厚生年金への加入についての要望についてほか

東京都市議会議長会

- 4月臨時総会
- 1 開催日 令和5年4月25日
- 2 議事
 - ・令和4年度東京都市議会議長会歳入歳出決算の認定についてほか

会研修計画について

- ・令和5年度東京都市議会議長会事業計画について
- ・令和5年度東京都市議会議長会関係役員についてほか

○8月定例総会

- 1 開催日 令和5年8月3日
- 2 議事
 - ・都県提出議案について
 - ・令和5年度東京都市議会議長会歳入歳出予算(補正第1号)(案)についてほか

東京都北多摩議長連絡協議会

- 定例総会
- 1 開催日 令和5年8月8日
- 2 議事
 - ・令和4年度東京都北多摩議長

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

- 理事会及び総会
- 1 開催日 令和5年5月29日
- 2 議事
 - ・令和4年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出決算の認定について

- ・令和5年度東京都北多摩議長連絡協議会歳入歳出決算の認定について
- ・令和6年度東京都北多摩議長連絡協議会役員(案)についてほか
- ・令和5年度東京都北多摩議長連絡協議会歳入歳出決算(案)について
- ・令和5年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出予算(案)について
- ・役員選任について
- ・総会決議(案)についてほか

東京河川改修促進連盟

- 理事会(書面開催)
- 1 開催日 令和5年6月1日
- 2 議事
 - ・令和4年度事業報告
 - ・令和4年度歳入歳出決算
 - ・会計監査報告
 - ・令和5年度事業計画(案)
 - ・令和5年度歳入歳出予算(案)
 - ・令和5年度分担金(案)

- ・第61回総会及び促進大会(案)
- ・令和6年度役員(案)
- 第2回常任役員会
- 1 開催日 令和5年8月10日
- 2 議事
 - ・第61回総会及び促進大会の役割分担について
 - ・来賓等の出席状況について

監査委員の活動内容

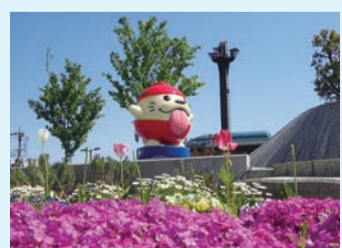
監査委員は、主として地方公共団体の財務に関する事務の執行及び地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査するために、地方公共団体に設置された独任制の執行機関です。

- 定期監査や例月出納検査のほか、決算及び基金運用状況に関する審査等を行います。
- ◇議員選出監査委員
 - (4月30日まで)
 - 二宮 由子
 - (5月23日から)
 - 中村庄一郎
- ◇開催日及び内容
 - ▽4月7日 住民監査請求(※1)に伴う陳述・協議
 - ▽4月13日 住民監査請求(※1)に伴う協議
 - ▽4月25日 例月出納検査、住民監査請求(※1)に伴う協議
 - ▽5月24日 住民監査請求(※2)に伴う協議
 - ▽5月29日 令和5年度東京都市監査委員会定期総会(書面開催) ※日付は書面審議結果通知日
 - ▽5月30日 例月出納検査、住民監査請求(※2)に伴う協議
 - ▽6月6日 住民監査請求(※2)に伴う陳述・協議
 - ▽6月29日 例月出納検査、財政援助団体(西武バス株式会社)監査、住民監査請求(※2)に伴う協議

市議会だよりの表紙を飾る写真を募集中!!



285号(8月1日発行)
「真夏の日差し」



283号(5月1日発行)
「うまべえが、お出迎え」

市内で撮った写真であれば、どなたでも応募できます。

【募集要項】

- 撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品(横構図のカラー写真)を募集しています。
- 作品は議会事務局にて随時募集しています。(市内、市外在住は問いません)
- 人物が明らかに特定できる場合は、ご本人に了承を得てください。
- 応募作品は原則としてお返しできませんので、ご了承ください。
- 採用作品の著作権は、東大和市に帰属します。
- 詳しくは、下記までお問い合わせください。

〈送付及び問い合わせ先〉
東大和市議会事務局 庶務調査係
(電話) 042-563-2111
(内線 2002)

- ▽7月14日 令和4年度東大和市各会計歳入歳出決算・下水道事業会計決算及び基金運用状況審査
- ▽7月25日 財政援助団体(西武バス株式会社)監査講評、例月出納検査
- ▽8月14日 令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率審査
- ▽8月22日 市長への講評(令和4年度東大和市各会計歳入歳出決算・下水道事業会計決算及び基金運用状況審査)、例月出納検査
- ▽8月22日 令和5年度関東都市監査委員会定期総会(書面開催) ※日付は書面審議結果通知日
- ▽8月24日・25日 令和5年度全国都市監査委員会定期総会及び研修会(秋田市)
- ▽9月20日 市議会決算特別委員会
- ▽9月26日 例月出納検査
- ▽9月26日 桜が丘中央公園における大型遊具の設置が取りやめになった事項に関する措置請求について
- ※2:新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する措置請求について

閉会中に行われた会議

- < 7 月 >
11日 ○総務委員会
○厚生文教委員会
13日 ○広報委員会
18日 ○建設環境委員会
21日 ○議会運営委員会
< 8 月 >
31日 ○議会運営委員会

議長・議員が出席した会合等

- < 6 月 >
14日 ○全国市議会議長会定期総会
29日 ○監査委員例月出納検査
< 7 月 >
10日 ○野火止用水保全対策協議会通常総会
21日 ○東京たま広域資源循環組合議会第2回全員協議会
○東京たま広域資源循環組合議会第1回臨時会
○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会正副委員長会議
24日 ○第55回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会
○第42回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会
25日 ○監査委員例月出納検査
○昭和病院企業団議会第1回臨時会
26日 ○湖南衛生組合議会第1回臨時会
○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
< 8 月 >
1日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
3日 ○東京都市議会議長会定例総会
○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
8日 ○東京都北多摩議長連絡協議会定例総会
10日 ○東京河川改修促進連盟第2回常任役員会
○第61回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会
22日 ○監査委員例月出納検査
24日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会東京都への陳情行動

12月議会の予定

※通常の会議時間は午前9時30分～正午、午後1時30分～5時です。

Calendar table for December with dates and event descriptions.

※日程は11月27日に開催される議会運営委員会で正式決定されるため、変更する場合があります。
なお、日程を決定次第、市公式ホームページへの掲載及び公共施設への掲示を行います。
問い合わせ先 議会事務局
電話 042-563-2111 内線2002
FAX 042-563-5926

市議会公式 X (旧ツイッター)
では、本会議での各議員による一般質問の日程情報を発信しています。
左記のQRコードからご確認いただけます。ぜひ、参考にしてください。



9月議会での議案等の結果（初日議決分）

Table showing the results of 13 council proposals on the first day of the September session.

(※) 日本共産党尾崎議員より、9月5日（初日）から8日までの本会議を欠席する旨の届出があり、また、同会派の早川議員より、9月議会会期中に開催される全ての会議を欠席する旨の届出があったため、会派人数を1名としています。

9月議会での議案等の結果（最終日議決分）

Table showing the results of 12 council proposals on the final day of the September session.

(※) 日本共産党早川議員より、9月議会会期中に開催される全ての会議を欠席する旨の届出があったため、会派人数を2名としています。

7月臨時会での議案等の結果

Table showing the results of 1 council proposal at the July special session.

上記の会派人数は、所属議員数です。ただし、公明党については東口議長を除いた人数です。
会派名略称：公…公明党【佐竹・木戸岡・中間・荒幡】 共…日本共産党【尾崎・上林・早川】
自新…自由民主党新政会【中村・木下・森田】 や…やまとみどり【床鍋・中野・金井】
立国…立憲国民クラブ【二宮・大后・石田】 自…自由民主党【蜂須賀・押本】
会派 無所属：無①…無所属（日本維新の会）【高峰】 無②…無所属（生活者ネットワーク）【関】
無③…無所属【大川】 ※会派 無所属の（ ）内は所属政党名等です。
賛否：○…賛成 ×…反対
結果：報…報告 同…同意 認…認定 可…原案可決 否…否決 不…不採択